



ニュース 環境 NEWS

2020年11月号 (No. 8)

環境清掃課
〒443-0105
西浦町口田土1番地
TEL 0533-57-4100
FAX 0533-57-3924

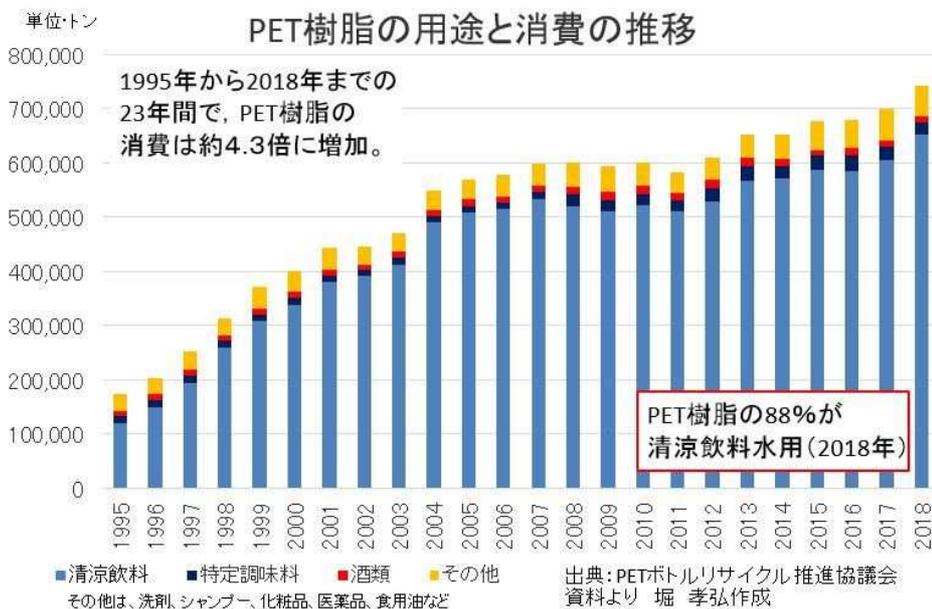
今回のテーマ

マイ〇〇を使いましょう

蒲郡市では地球温暖化防止対策に向けた取り組みとして、市民一人ひとりが地球温暖化問題に対する関心を高め、環境にやさしい行動をとっていただくように、地球温暖化対策に関する様々な情報を、「環境NEWS」として月1回発行してまいります。

マイボトル

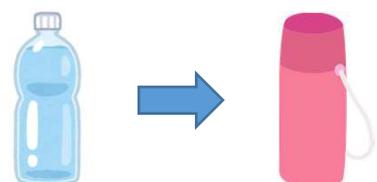
下のグラフは、ペットボトルに使用されるPET樹脂の消費の推移を示しています。ペットボトルの消費は年々増えて続けていることがわかります。便利ですが、リサイクルされず海洋プラスチックごみ問題の原因のひとつとなるなど負の側面もあります。街中で落ちているペットボトルを見かけたことがあると思います。こうしたなか、ペットボトルの代わりとして注目されているのがマイボトルです。マイボトルは繰り返し利用できることから、その都度ペットボトル飲料を購入することと比較して節約にもなります。マイボトルを使い、ペットボトルの消費を抑えましょう。



出典:京都市ごみ減量推進会議

マイボトルにはこんなメリットがあります！

- ・節約になる
- ・繰り返し使える
- ・ごみを減らせる



マイバッグ

プラスチックは丈夫で便利のため、さまざまな製品に利用されています。レジ袋はその代表的なものでしたが、現在世界的に脱プラスチック製品の動きが高まっており、日本では令和2年7月1日よりプラスチック製買い物袋の有料化が始まるなど、レジ袋の在り方が見直されてきています。マイバッグへの転換が進み、ごみの減量、プラスチックの焼却による温室効果ガスの排出の削減などの効果が期待されています。

そのレジ袋、必要ですか？



出典：経済産業省

マイ箸

日本国内では、年間に約250億膳の割り箸が消費されています。そのほとんどを中国から輸入していますが、標準的な戸建て住宅が年間に2万棟建てられる量の木材を割り箸として使用することになります。(参考：会津若松商工会議所 割り箸の現状について)
海外では、割り箸の生産のために森林が伐採されてしまっているのが現状です。森林は大気中の二酸化炭素を吸収する役割を持っており、伐採が環境に与える影響は大きいです。代わりにマイ箸を使えばエコであり、使い慣れた箸での食事はより楽しいものとなるでしょう。みなさんも「マイ箸」、使ってみませんか。

事例紹介～岡山県真庭市「エコテイクアウト推進事業」

岡山県真庭市では、プラスチック製容器の使用や消費を削減するため、繰り返し使える食器や容器を使ってテイクアウトを推進する「エコテイクアウト推進事業」を行っています。繰り返し使える容器の無料貸し出しや、ホームページ上でエコテイクアウトを実践しているお店を紹介しています。なかには貸し出された容器やマイ容器の持参によってテイクアウトをすることで、値引きのサービスを受けられるお店もあります。新型コロナウイルスの影響からテイクアウトをする機会が増えています。プラスチックごみの削減のため、できることから始めましょう。

マイ〇〇を使用し、
プラスチックごみを減らしましょう



出典：真庭市ホームページ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

